

## 日本テレコムが Adobe Acrobat 7.0 Standard を 6,500 ライセンス導入

**Adobe PDF と Adobe Acrobat により、  
全社レベルの効率的な情報管理と共有を実現**

**【2005年12月19日】**

アドビシステムズ株式会社(本社:東京都品川区)は、日本テレコム株式会社(本社:東京都港区、以下日本テレコム)が、完全フリーアドレス制のオフィスへの移行にあたり、全社員のPCに Adobe® Acrobat® 7.0 Standard を導入したと発表しました。今回の導入決定にあたっては、世界中の企業・政府自治体で広く利用されている Adobe® PDF® の信頼性、Adobe Acrobat の機能が評価されました。

日本テレコムは、Adobe Acrobat を活用し、紙文書を電子化する一方で、顧客向けのプレゼンテーション資料や見積もりなど、多様なアプリケーションで作成された情報を Adobe PDF で管理し、同社の全社的情報共有化を進めています。また、Adobe Acrobat のセキュリティ機能を利用することで文書内容の改ざん防止を図るなど、情報セキュリティの維持を確保しています。

日本テレコムは、ICT(情報通信技術)ソリューション企業への変革を目指して、新しいワークスタイルを取り入れています。デジタル&モバイルをコンセプトとした完全フリーアドレス制のオフィス内では、ペーパーレス化を徹底するために、全社的に、業務上必要な情報を電子化することで紙文書の保存を撤廃しました。さらに、業務効率と生産性の向上を目的に社内利用するアプリケーションを統一し、高いレベルでの情報の共有化を実現しました。これらの活動により、紙の使用量が84%削減され、効率的な情報アクセスの環境整備と、それによって意思決定のスピードアップを実現しています。

日本テレコムが導入した Adobe Acrobat 7.0 Standard は、あらゆるビジネス文書を簡単に Adobe PDF に変換して活用するためのソフトウェアです。パスワードやデジタルIDによるセキュリティを簡単な操作で付与することができるため、社外に配布する文書の保護が可能です。また、文書注釈ツールを使った効率的な文書レビューおよびコメントの集約が可能のため、モバイル環境での情報共有、コラボレーションに適しています。

日本テレコム株式会社の細田 靖 システム基盤部部長は、「Adobe Acrobat を利用することで、電子文書の世界的標準フォーマットである Adobe PDF を活用した社内・社外の安全性の高い効率的な情報共有を実現しています。今後さらに Acrobat を活用することで、業務の効率化向上を高めていきたいと考えます」と述べています。

### アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> に掲載されています。